

栃木県わがまち未来創造事実績書(市町総括表)
 【**単独**・連携事業】

市町名	さくら市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	さくらジャンゴ・ラインハ ルト・フェスティバル実 施事業	総事業費	584,342					584,342
		うち市町支出額	270,000					270,000
		うち県交付金	135,000					135,000
2		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	584,342	0	0	0	0	584,342
		うち市町支出額	270,000	0	0	0	0	270,000
		うち県交付金	135,000	0	0	0	0	135,000

栃木県がまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	さくら市
事業名	さくらジャンゴ・ラインハルト・フェスティバル実施事業
事業主体の名称	さくらジャンゴ・ラインハルト・フェスティバル実行委員会
代表者の名称	高野 篤
事業主体の所在	栃木県さくら市喜連川4620-1
事業主体の概要	団体の目的:音楽イベント及び関連事業を通して市内外から演奏者・参加者が集まり、市内中心地の活性化を目指す。 設立年月日:平成23年9月6日 構成員等:実行委員長 高野篤(さくら市在住ギター製作)、浦上宗治(東京ホット倶楽部バンドプロデューサー)、栃十交流館登録ボランティア、文星芸術大学CG・アニメーション研究室
当該事業に係る地域の現状と課題	市内喜連川地区では人口減少や高齢化が進んでおり、地域社会の維持、地域の賑わいを生み出すことが困難になってきている。そこで、地域活性化を図るべく、市が地域住民による主体的な取組を支援する「さくら市民企画」を実施したところ、喜連川地区に住むギター職人が、1940年代のフランスを中心に活躍したギタリスト、「ジャンゴ・ラインハルト」が愛用するギターモデルを製作しており、フランス本国のフェスティバルで演奏経験のある東京ホット倶楽部バンドの一人と意気投合し、コンサートを開催する事となった。コンサートは大盛況であり、今後も市支援のもと、地域活性化に向けて事業を行っていく事となり、「ジャンゴ・ラインハルト」の名を冠したジャズの祭典を喜連川地区で開催、「喜連川の街を音楽で廻る」をコンセプトに本格的な街の魅力作りに取り組みはじめた。この事業を行うことにより、県内外からの来訪者が増加し、演奏者も多く訪れるようになった。その為、イベント参加を通して、街の魅力を市外に向かって発信し、より効果的に交流人口を増やすことを目指している。しかし、年間を通して来訪者を確保し、交流人口を増やすためには、より一層のジャンゴの街としてのPRが必要であり、当事業を始めとした様々な取り組みを今後も年間を通して行う必要がある。
事業目的	スウィングジャズの街さくら市として喜連川から市内外、県外、ひいては日本全国へ発信し、より一層のジャンゴの街としてPRした。年間を通して来訪者を確保するため、様々な関連事業と連携を図り、交流の場を作ることで交流人口を増やした。
事業概要	【イベント内容】 平成28年度もさくら市教育委員会の文化振興事業として、官民一体のイベント形態で実施し、6回目を迎えた。街全体をフェスティバル会場とし、複数施設を利用し、「喜連川の街を音楽で廻る」をコンセプトに7月9日、10日の2日間で開催した。 1日目は、サテライト会場として、喜連川地区に点在する、魅力ある明治・大正の建造物(旧喜連川興業銀行本店、旧喜連川警察署等)や各施設を利用しコンサートを実施した。街めぐりが楽しめるよう、近隣の未使用地で雑貨市(マルシェ)を実施、雨天の為野外特設ステージは中止とし、代替で公民館ホールにてコンサートを開催した。ギターとバイオリンのセッション等を学べるワークショップを今年度より本格的に実施し、学びの場を提供した。市内及び北は仙台から南は浜松まで23組87人の公募によるバンドが出演した。2日目は、喜連川公民館をメイン会場とし、プロのジャズ演奏を聴くことができるコンサートを開催。世界的に活躍する東京ホット倶楽部バンド、ABC Orchestra、Banjo&Accordionの他、市内からJポップボックスが出演した。 【PR】 スウィングジャズの街として喜連川から市内外、県外、ひいては日本全国へ発信するための取組として、市内へは新聞のチラシ折り込みの他、ポスター掲示、市広報紙による広報を、市外へは道の駅や公共施設(文化会館、博物館、図書館、公民館等)にチラシを配布するとともに、ポスターを掲示しての広報を、県外へは市HPや実行委員会HPで周知するとともに、実行委員会や出演者のSNSによりイベント情報の拡散を図った。また、配布先や数量を昨年より充実させ、出演者がポスター等を使い、地元でPRを行うことで県外からの来訪者獲得につなげた。 【関連事業 ※当事業の予算外】 ①バンド講座:公民館で中学生を対象に実施し、受講生が当事業の運営スタッフとして参加した。 ②ギター教室:当事業の会場でもある栃十交流館で毎週開催し、フェス当日の運営スタッフとして参加した。 ③まちあそびクラブ:毎月小学生による駄菓子屋を実施。7月はフェスと同日に開催し、子供の来場を増加につなげた。 ④観光ボランティアとの連携:会場マップに江戸時代の喜連川の地図を用い、歴史探訪も楽しめるようにした。 ⑤ジャンゴ東京フェスティバルとの連携:東京で開催のジャズイベントに協力し、当事業や、喜連川の観光PRを実施した。 ⑥前夜祭の開催:市内氏家地区の指定文化財建造物にて、ギターとバイオリンによるコンサートを開催。市内の別地区で開催することで、翌日のフェスティバル来場者の増加につなげた。(今年度より実施) 【後援・協力】 ベルギー王国大使館、さくら市国際交流協会、アコースティックギターマガジン、SAVAREZ(フランスの楽器メーカー)他 【平成29年度】 今年度と同規模のフェスティバルを実施。関連事業についても引き続き行なう。また、新規事業の開催も検討し、今年度以上の交流人口増加を目指す。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】定住人口・交流人口を増やす 【KPI】年間観光入込客数 現状値(H26)700,428人 目標値(H31)1,000,000人 ホームページアクセス数 現状値(H26)671,491回 目標値(H31)740,000回 転入超過数 現状値(H26)3人 目標値(H31)毎年24人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度		支援期間の事業費計	
	金額	割合	金額	割合
街全体での音楽フェスティバルの開催 ①メイン開場 1 ②サテライト開場 4 ③出演団体 27団体 ④マルシェの開催 ⑤ワークショップの開催				
事業費	584,342		584,342	
市町支出金(ソフト事業分)	270,000		270,000	
うち県交付金	135,000		135,000	
市町支出金(ハード事業分)	0		0	
うち県交付金	0		0	
その他自主財源等	314,342	0	314,342	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課 文化振興係
担当者名	野崎 祐希
電話	028-686-6621
FAX	028-686-5368
E-mail	svogaiakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp